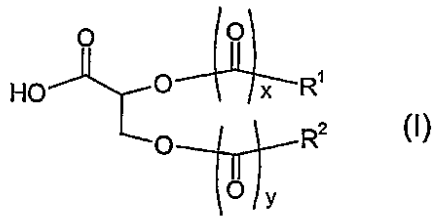
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公表番号】特表2005-517701(P2005-517701A)
【公表日】平成17年6月16日(2005.6.16)
【年通号数】公開・登録公報2005-023
【出願番号】特願2003-567857(P2003-567857)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ　69/63　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｋ　 3/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ　69/63
Ａ６１Ｋ　 9/12
Ａ６１Ｋ　47/14
Ａ６１Ｐ　11/00
Ｃ０９Ｋ　 3/00　Ｚ

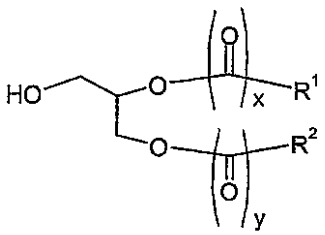
【手続補正書】
【提出日】平成17年12月8日(2005.12.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式(I)
【化１】



(I)

［式中、
xは、0または1を表し；
yは、0または1を表し；
R^1およびR^2は、独立して、フルオロアルキル部分が少なくとも1個のフッ素原子と3個以下の連続したペルフルオロカーボン原子とを含有する-C_{1-9}アルキレンC_{1-6}フルオロアルキルを表し、かつ該R^1および/またはR^2部分は、場合により、エーテル結合で中断されていてもよい］
の化合物またはその塩もしくは溶媒和物。
【請求項２】
R^1が、-C_{1-6}アルキレンC_{1-3}フルオロアルキル、より好ましくは-C_{1-3}アルキレンC_{1-3}フルオロアルキル、特に-C_2アルキレンC_{1-2}フルオロアルキル、とりわけ-$CH_2CH_2CF_2CF_3$であ

る、請求項１に記載の化合物。
【請求項３】
R^2が、$-C_{1-6}$アルキレンC_{1-3}フルオロアルキル、より好ましくは$-C_{1-3}$アルキレンC_{1-3}フルオロアルキル、特に$-C_2$アルキレンC_{1-2}フルオロアルキル、とりわけ$-CH_2CH_2CF_2CF_3$である、請求項１または２に記載の化合物。
【請求項４】
xが1を表す、請求項１～３のいずれか一項に記載の化合物。
【請求項５】
yが1を表す、請求項１～４のいずれか一項に記載の化合物。
【請求項６】
2,3-ビス[(4,4,5,5,5-ペンタフルオロペンタノイル)オキシ]プロパン酸またはその塩もしくは溶媒和物である、請求項１～５のいずれか一項に記載の化合物。
【請求項７】
粒子状薬剤と、フルオロカーボン噴射剤もしくは水素含有クロロフルオロカーボン噴射剤またはそれらの混合物と、請求項１～６のいずれか一項に記載の式(I)の化合物と、を含む、エアロゾル医薬製剤。
【請求項８】
式(I)の化合物の量が、前記薬剤に対して0.5%～5% w/wの範囲である、請求項７に記載の医薬製剤。
【請求項９】
請求項７または８に記載の製剤を収容する、定量噴霧式吸入器。
【請求項１０】
界面活性剤としての、請求項１～６のいずれか一項に記載の化合物の使用。
【請求項１１】
(a) 式(IV)
【化２】



(IV)

［式中、
xは、0または1を表し；
yは、0または1を表し；
R^1およびR^2は、独立して、フルオロアルキル部分が少なくとも1個のフッ素原子と3個以下の連続したペルフルオロカーボン原子とを含有する$-C_{1-9}$アルキレンC_{1-6}フルオロアルキルを表し、かつ該R^1および/またはR^2部分は、場合により、エーテル結合で中断されていてもよい］の化合物またはその塩もしくは溶媒和物の酸化、または
(b) カルボン酸基が保護されている式(I)の化合物の誘導体の脱保護、
を含む、式(I)の化合物の調製方法。